

## 令和元年度下半期の総合防災訓練の実施結果について

## 1 秋の避難所総合訓練

## (1) 実施日時等

ア 日時 令和元年10月27日(日) 午前8時30分から午後0時30分まで

イ 場所 湯島小学校・教育センター

ウ 参加者

(単位：人)

No.	所属	人数
1	区民(避難所運営協議会員、一般参加者)	367
2	学校職員	7
3	防災関係機関等(文京区医師会・文京区歯科医師会・文京区薬剤師会・文京手話会)	24
4	区職員(災害対策本部員を含む。)	49
	合計	447

(2) 訓練テーマ 「災害時における避難所の開設訓練と要配慮者への対応方法」

## (3) 訓練内容

ア 各町会における参集訓練

各町会であらかじめ指定した一時集合場所に参集し、住民の安否確認及び建物被害の確認を行い、避難所へ移動した。

イ 避難所開設訓練

湯島小学校避難所運営協議会及び教育センター避難所運営協議会で策定した避難所開設のルールに基づき避難所の開設を行った。

(ア) 建物の安全点検

(イ) 避難者受付

(ウ) 備蓄物資の搬出

(エ) 居住スペースの作成

(オ) 要配慮者スペースの作成及び対応

(カ) 応急救護所の開設

(キ) 給水所設置

ウ 避難所開設方法の解説

各避難所開設班がどのような準備を行い、行動をしていたのかを参加者に対し解説した。

## (4) 実施結果

今回の訓練は、湯島小学校及び教育センターの2か所合同で行い、両避難所の協力体制や情報共有方法を実践の中で確認することができた。

また、受水槽の水を実際に活用する給水訓練や毛布・ゴザ等を備蓄倉庫から搬出し、体育館では個人スペースの確認、要配慮者スペースへの案内及び対応など、災害時を想定した実働型訓練を行い、避難所開設時にどのように行動をしなければならないかを体得できた。

## 2 冬の避難所総合訓練

## (1) 実施日時等

ア 日時 令和2年2月9日(日) 午前10時から午前11時30分まで

イ 場所 千駄木小学校

## ウ 参加者

(単位：人)

No.	所 属	人数
1	区民防災組織	59
2	区民（体験型訓練参加）	149
3	学校職員	5
4	防災関係機関等（文京区医師会・文京区歯科医師会・文京区薬剤師会・本郷消防署・本郷消防団・駒込警察署・文京手話会・文京区アマチュア無線局非常通信連絡会・日本郵便株式会社・東京都トラック協会文京支部・東京ケーブルネットワーク株式会社・一般財団法人日本環境衛生センター）	54
5	区職員（災害対策本部員を含む。）	40
	合 計	307

(2) 訓練テーマ 「感染症対策」

(3) 訓練内容

## ア 避難所運営訓練

避難者を受け入れる準備について避難所運営協議会員を中心に実施した。

No.	役割	訓練内容
1	本部室	避難所本部開設、施設内の利用計画策定、避難所運営ルールの検討
2	総務情報班	避難者受付、情報掲示（帰宅困難者受入施設、妊産婦・乳児救護所への案内等）、災害時特設公衆電話設置
3	避難者援護班	居住スペース確保、施設内の定期的な安全点検、ダンボールベッド・プライベートテント・多目的テントの設営
4	救護衛生班	医療救護所設営、避難所内の衛生管理、医師のトリアージ補助、応急手当、携帯トイレ及び組立式トイレの設営・説明
5	給食物資班	飲料水の確保、照明機材の取扱確認、炊き出し

## イ 物資搬入訓練

東京都トラック協会文京支部と連携した支援物資の搬入訓練を行い、避難所での受入訓練及び物品管理を行った。

## ウ 臨時災害 FM 放送局試験放送

臨時災害FM放送局の試験放送を行い、実災害時の運用方法の確認及び周知を行った。

## エ 体験型訓練

消火訓練、煙体験ハウス、防災体験ツアー、応急救護訓練（AED取扱い、心肺蘇生法）、医療救護所体験

## オ 展示ブース

本郷消防署・本郷消防団、駒込警察署、文京区アマチュア無線局非常通信連絡会、日本郵便株式会社

(4) 実施結果

一般財団法人日本環境衛生センター職員から冬の避難所において想定される感染症の事例について説明を受け、本部室において対処方法について訓練を実施した。

また、ノロウイルス対策として、正しい手洗い方法等の周知をDVDやリーフレットによって周知を行った。